



政府統計

平成24年度 青少年のインターネット利用環境実態調査

調査結果(概要)

平成25年3月

内閣府

調査概要

1. 調査目的

平成21年度～平成23年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

2. 調査設計

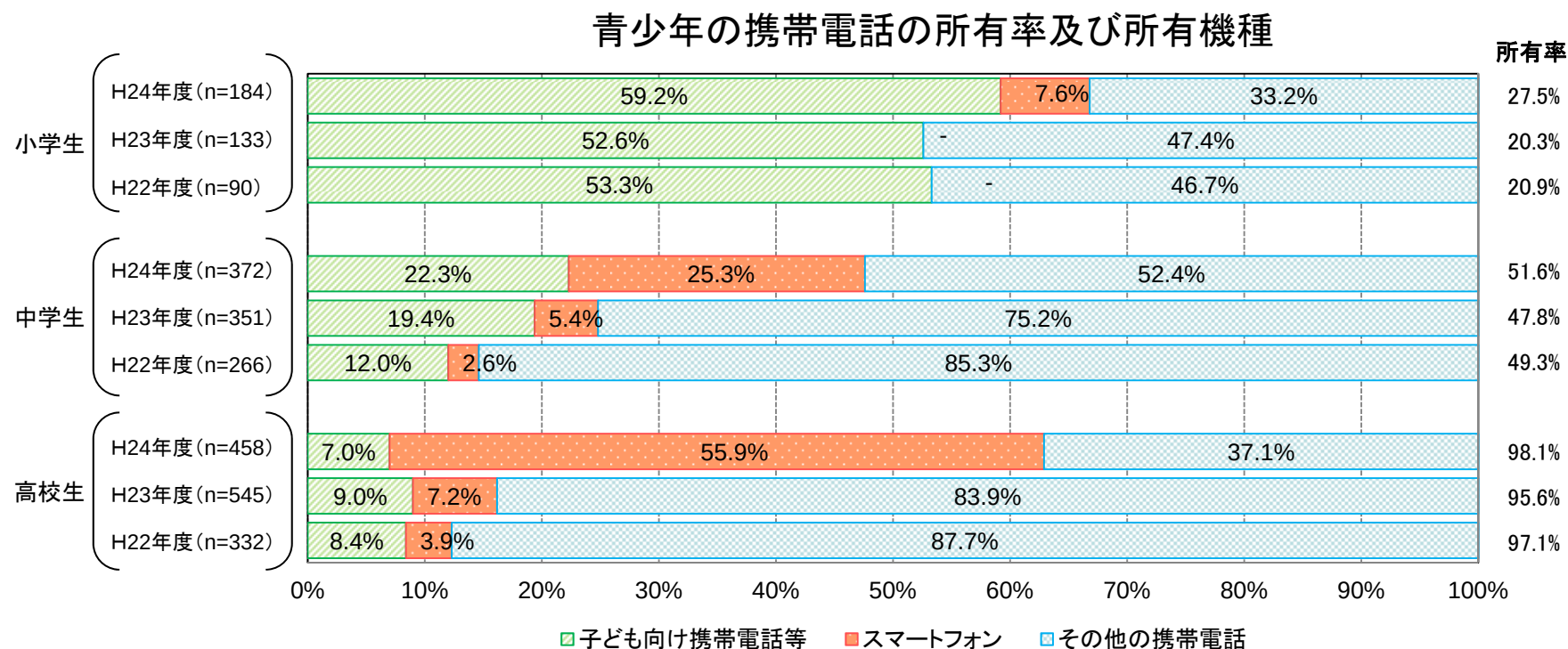
- (1) 方 法: 調査員による個別面接方式
- (2) 対 象: ①満10歳から満17歳までの青少年(3,000人)
②上記青少年の同居の保護者(3,000人)
- (3) 期 間: 平成24年11月1日～11月11日
- (4) 回収結果: ①青少年調査 1,867人(62.2%)
②保護者調査 1,915人(63.8%)

3. 企画分析会議

- 委員長 藤 原 静 雄 (中央大学法科大学院 教授)
- 委 員 生 田 倫 子 (神奈川県立保健福祉大学 専任講師)
- 国 分 明 男 ((財)インターネット協会 副理事長)
- 小豆川 裕 子 ((株)NTTデータ経営研究所 ソーシャルイノベーション・コンサルティング本部
シニアスペシャリスト)
- 西 田 光 昭 (千葉県柏市立中原小学校 校長)

概要①青少年の携帯電話の所有状況

スマートフォンを所有する青少年が増加。



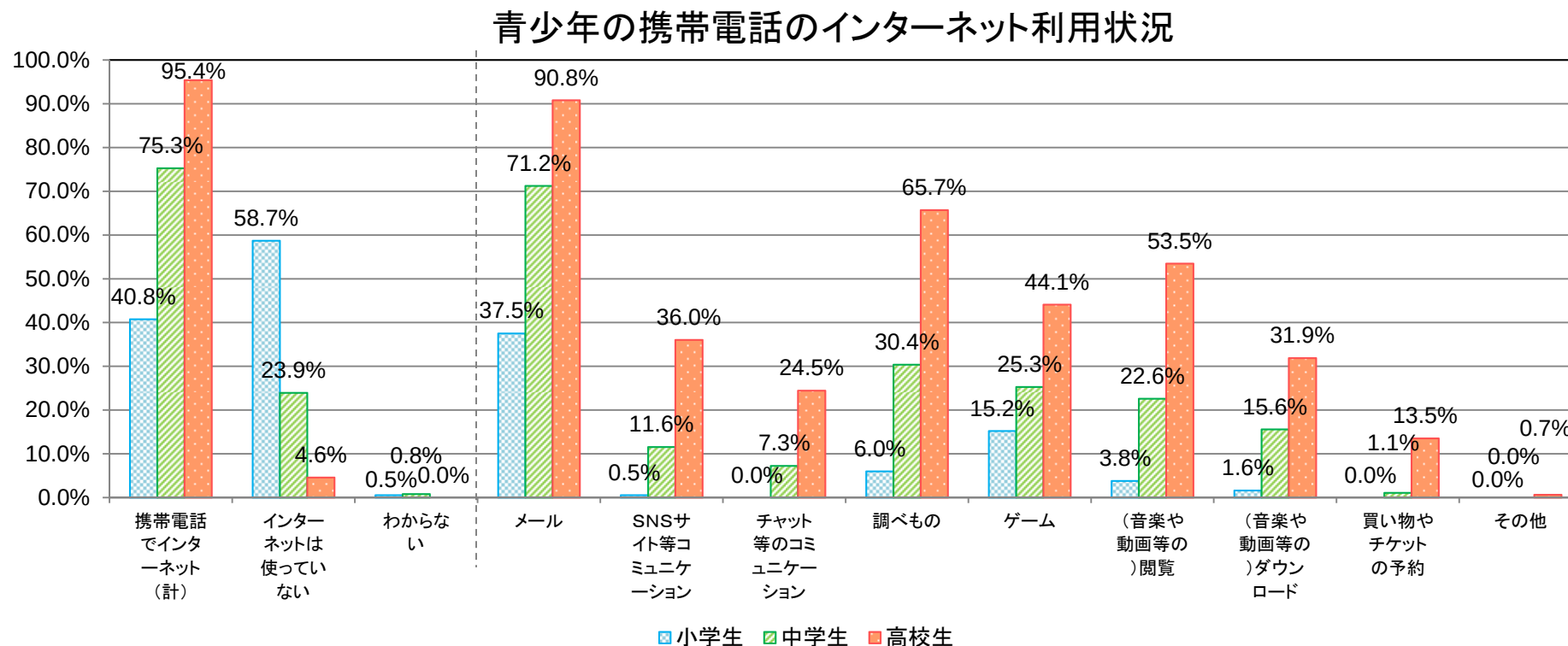
(注) 1「青少年の携帯電話の所有機種」は、携帯電話を持っていると回答した青少年をベースに集計。

(青少年調査)

➤ 青少年が所有する携帯電話のうちスマートフォンの占める割合は、小学生では1割弱、中学生では2割半ば、高校生では5割半ば。

概要②青少年のインターネット利用状況 - 1

青少年による携帯電話を通じたインターネット利用が常態化。



(注) 「青少年の携帯電話のインターネット利用状況」は、携帯電話を持っていると回答した青少年をベースに集計。

(青少年調査)

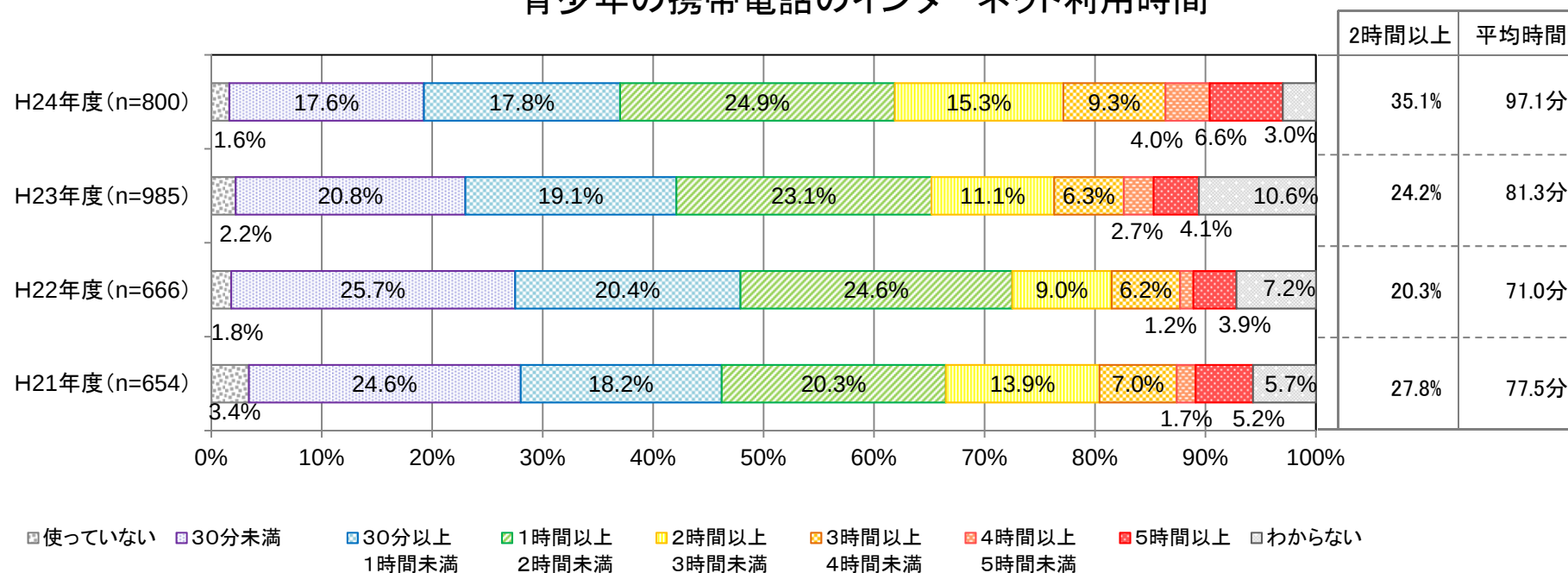
➤携帯電話を所有する青少年のうち、小学生の約4割、中学生の7割半ば、高校生の9割半ばがインターネットを利用。

➤利用内容は、小学生ではメール、ゲーム、中高生ではメール、調べものが上位。

概要②青少年のインターネット利用状況 - 2

青少年による携帯電話を通じたインターネット利用が長時間化。

青少年の携帯電話のインターネット利用時間



(注) 1 「青少年の携帯電話のインターネット利用時間」は、携帯電話でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

2 利用時間は、平日(土日を除く)1日当たりの携帯電話のインターネット利用時間の平均値を集計。

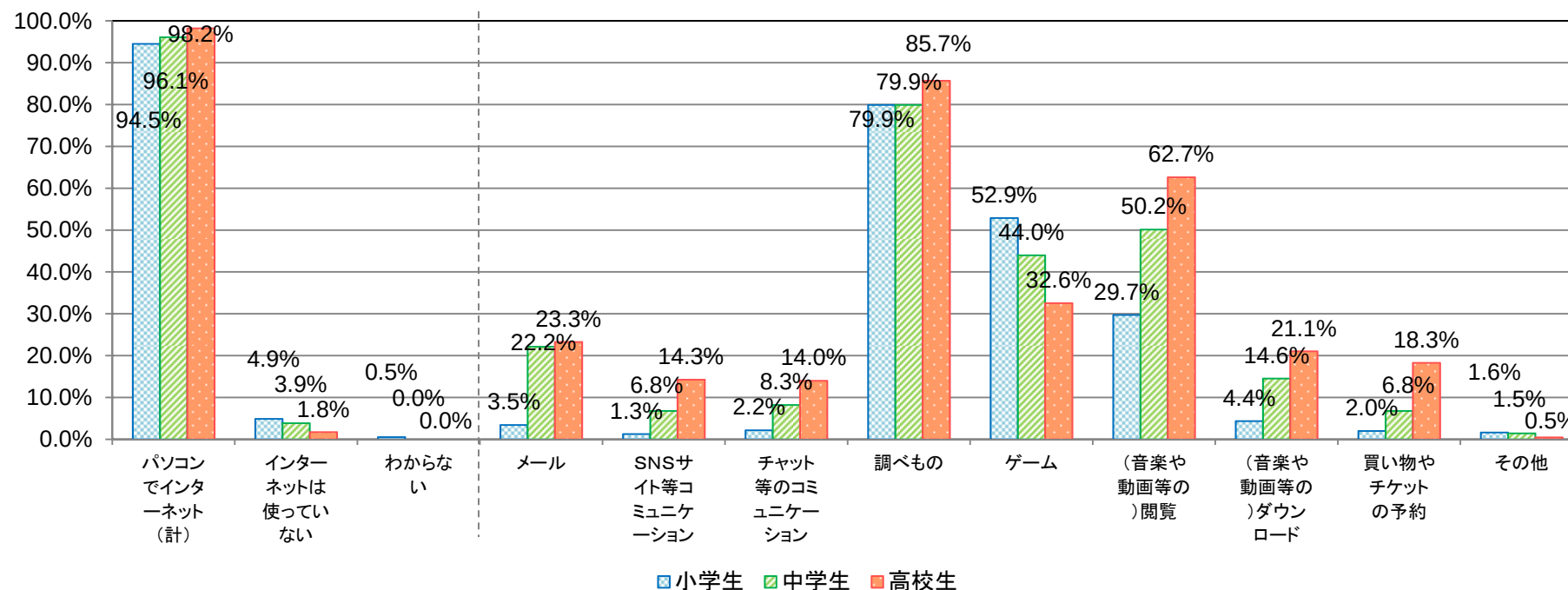
(青少年調査)

➤携帯電話でインターネットを利用している青少年のうち、3割半ばが2時間以上インターネットを利用。平均時間は約100分。

概要②青少年のインターネット利用状況 - 3

青少年によるパソコンを通じたインターネット利用の常態化。

青少年のパソコンのインターネット利用状況



(注) 1 「青少年の携帯電話のインターネット利用状況」の数値は、パソコンを使用していると回答した青少年をベースに集計。

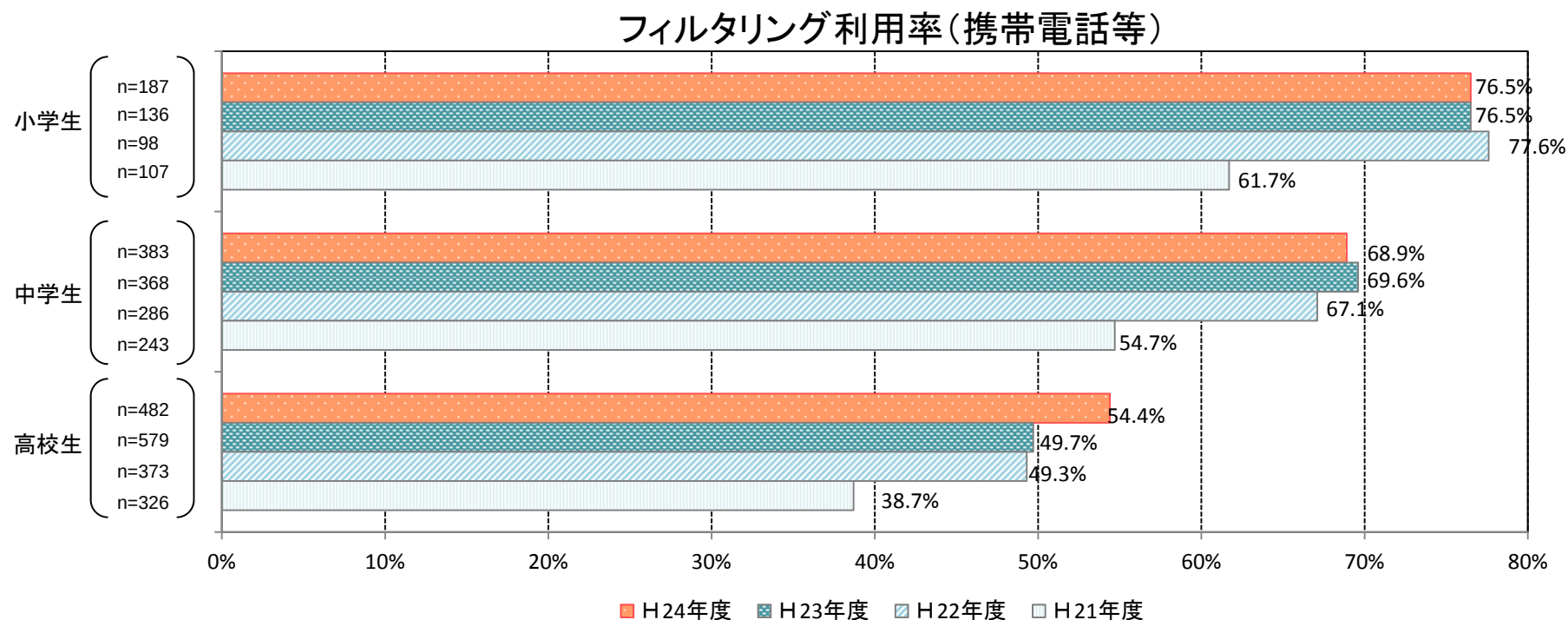
2 パソコンを使っていると回答した青少年は、小学生では81.9%、中学生では85.7%、高校生では85.4%。

(青少年調査)

- パソコンを使用する青少年のうち、小学生の9割半ば、中高生の9割台後半がインターネットを利用。
- 利用内容は、小学生では調べもの、ゲーム、中高生では、調べもの、(音楽や動画等の)閲覧が上位。

概要③携帯電話におけるフィルタリング利用率 - 1

青少年の携帯電話におけるフィルタリング利用率は、小中学生において伸び悩み。高校生において増加するも5割半ば。



(保護者調査)

(注) 1「携帯電話」とは、携帯電話、PHS端末、スマートフォンを指す。

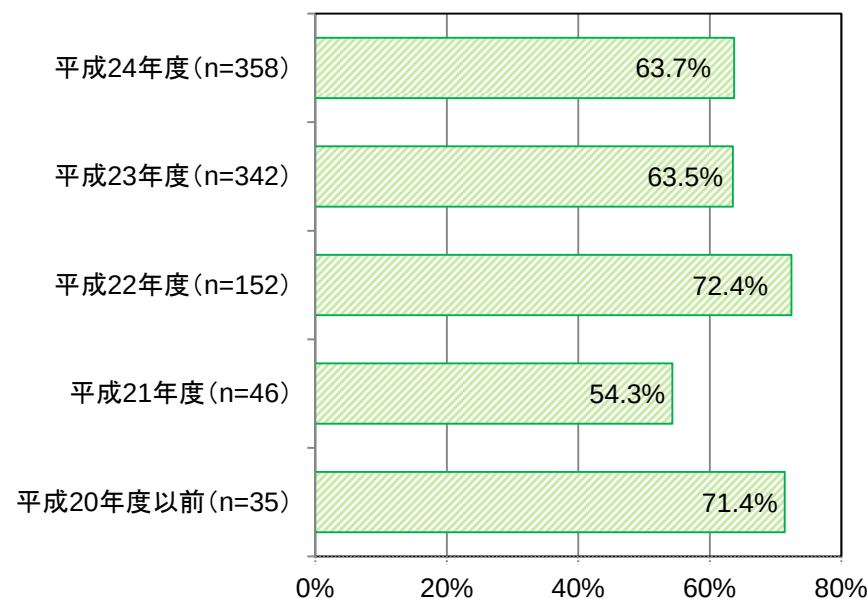
2「フィルタリング利用」は、フィルタリングを設定している場合のほかに、インターネットに接続できない機種・設定の場合を含む。

➤携帯電話におけるフィルタリング利用率は、小学生で7割後半、中学生で約7割、高校生で5割半ば。

概要③携帯電話におけるフィルタリング利用率 - 2

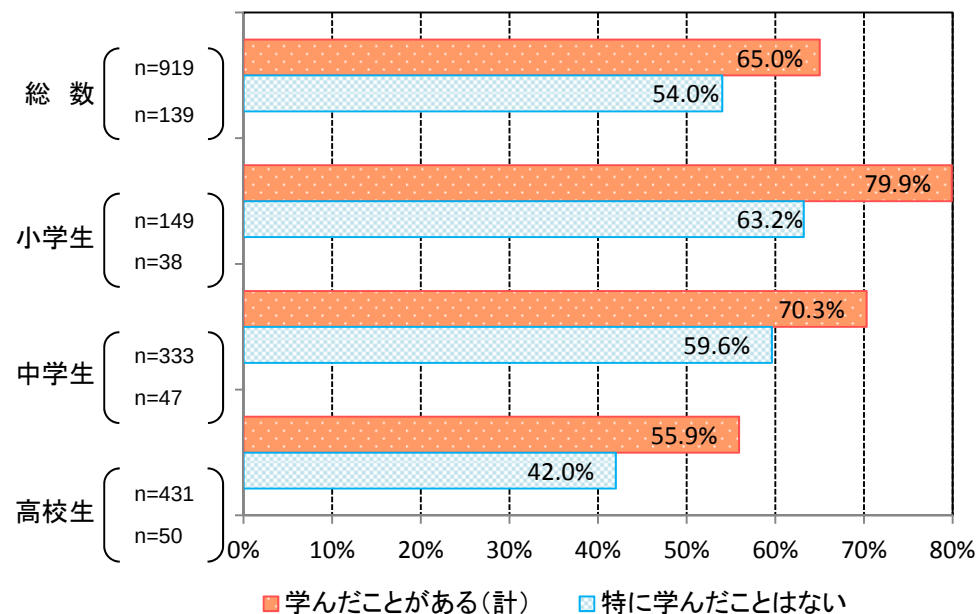
青少年の携帯電話におけるフィルタリング利用率は、携帯電話の購入時期別に見ると、横ばい傾向。また、啓発経験のある保護者の利用率の方が高い。

携帯電話フィルタリング利用率【購入時期別】



(保護者調査)

携帯電話フィルタリング利用率【啓発経験の有無別】



(保護者調査)

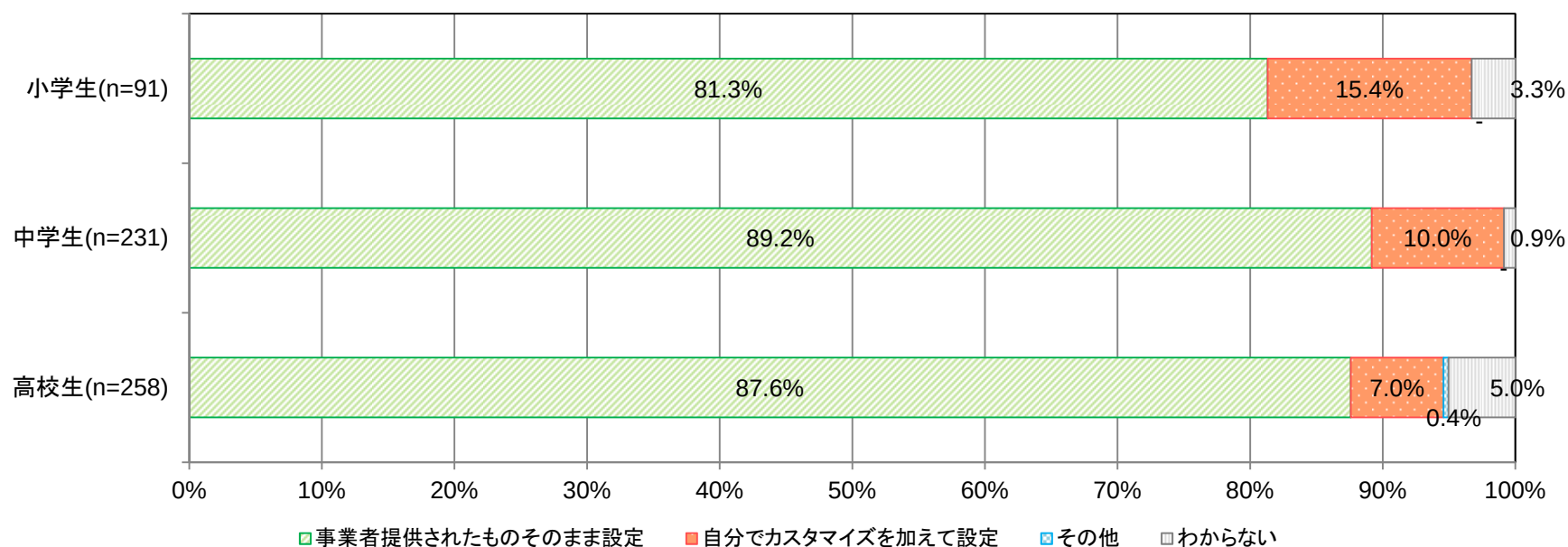
(注) 「携帯電話フィルタリング利用率」は、携帯電話のフィルタリングを使っていると回答した保護者をベースに集計。

- 購入時期別に見ると、平成24年度は6割前半であり、横ばい傾向。
- 啓発経験の有無別に見ると、啓発経験のある保護者の利用率の方が高い。

概要③携帯電話におけるフィルタリング利用率 - 3

携帯電話におけるフィルタリングは、事業者から提供されたものをそのまま設定する保護者が多い。

フィルタリング設定方法



(保護者調査)

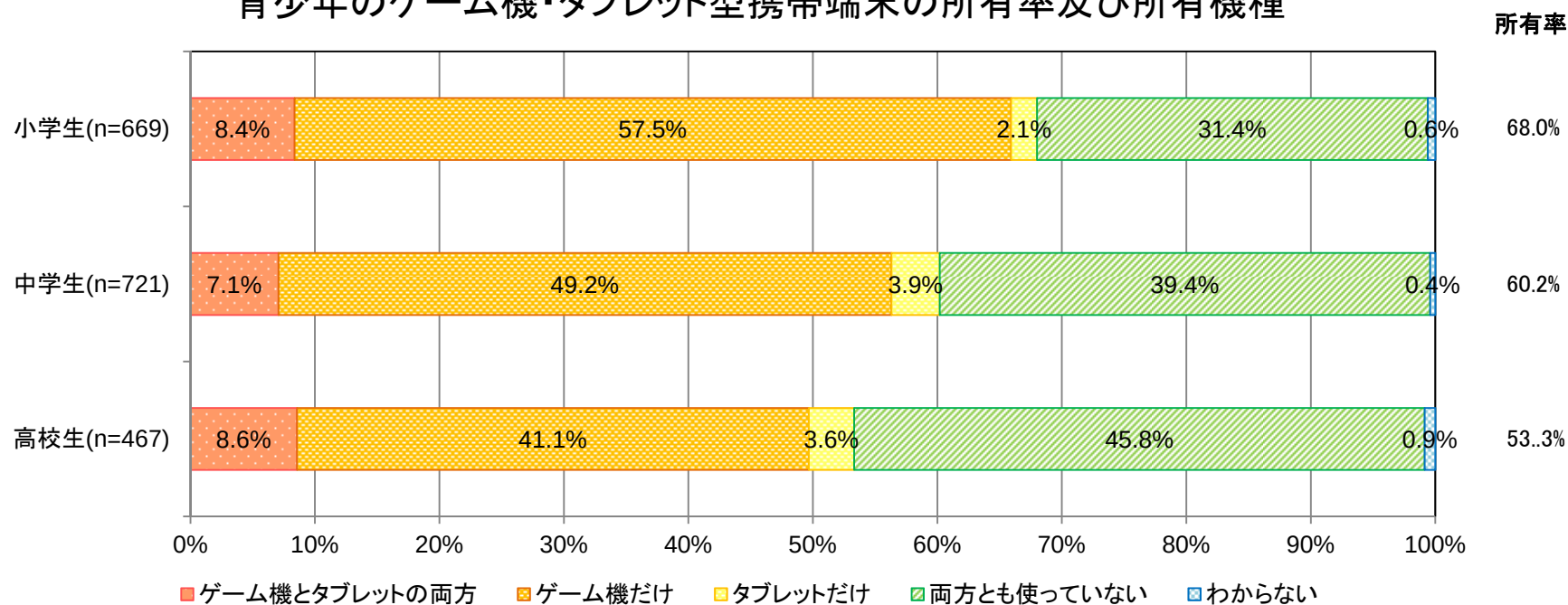
(注) 「フィルタリング設定方法」は、携帯電話のフィルタリングを使っていると回答した保護者をベースに集計。

➤フィルタリングを自分でカスタマイズを加えて設定する保護者は、小学生で1割半ば、中学生で1割、高校生で1割弱。

概要④ゲーム機・タブレット型携帯端末の利用状況 - 1

青少年の半数以上がゲーム機またはタブレット型携帯端末を所有。

青少年のゲーム機・タブレット型携帯端末の所有率及び所有機種



(注) 「所有率」は、「ゲーム機とタブレットの両方を持っている」「ゲーム機だけ持っている」「タブレット型携帯端末だけ」のいずれかを回答した青少年をベースに集計。

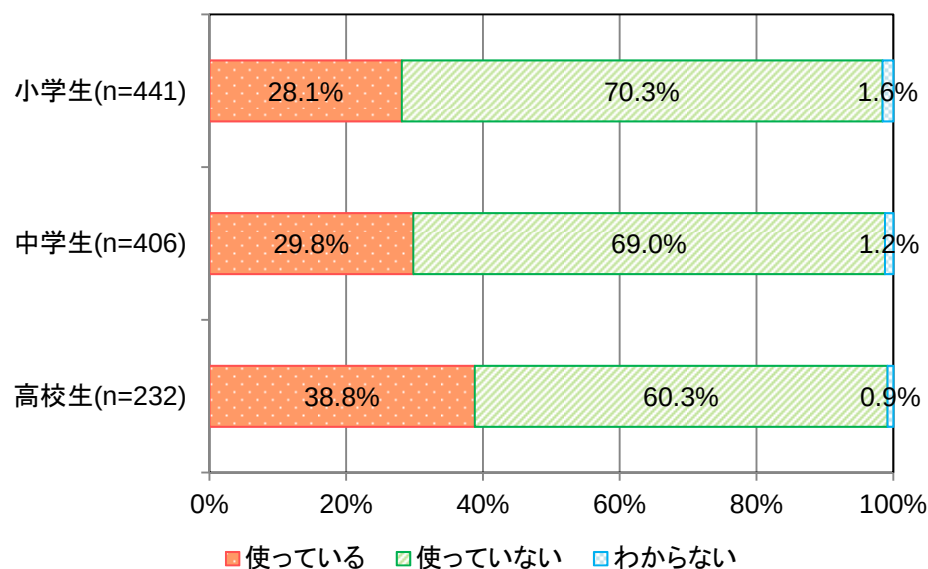
(青少年調査)

➤ゲーム機またはタブレット型携帯端末を所有する青少年は、小学生では6割後半、中学生では約6割、高校生では5割前半。

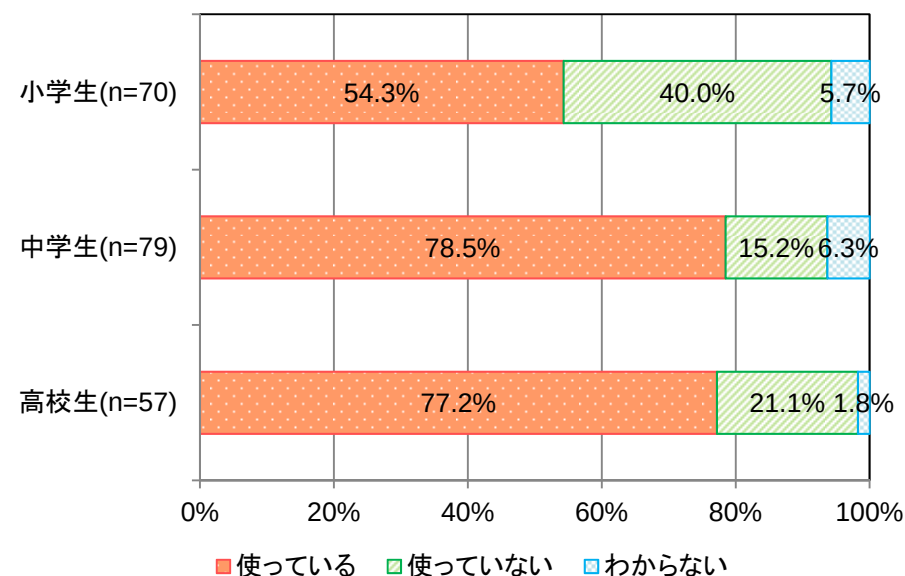
概要④ゲーム機・タブレット型携帯端末の利用状況 - 2

ゲーム機及びタブレット型携帯端末におけるインターネット利用率については、学校種が上がるとともに高まる傾向。

ゲーム機におけるインターネット利用



タブレット型携帯端末におけるインターネット利用



(注) 1 「ゲーム機におけるインターネット利用は、ゲーム機を持っていると回答した青少年をベースに集計。

(注) 2 「タブレット型携帯端末におけるインターネット利用は、タブレット型携帯端末を持っていると回答した青少年をベースに集計。

(青少年調査)

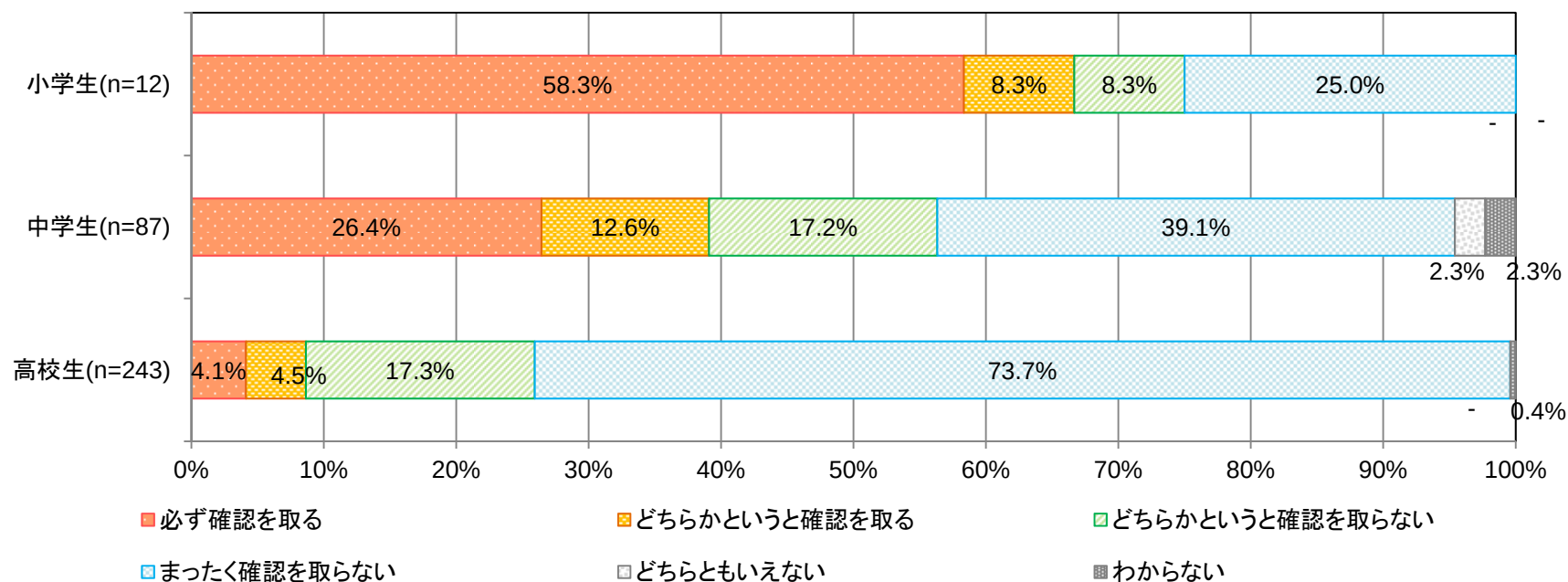
➤ゲーム機を所有する青少年のうち、小中学生の約3割、高校生の約4割がインターネットを利用。

➤タブレット型携帯端末を所有する青少年のうち、小学生の5割半ば、中高生の約8割がインターネットを利用。

概要⑤スマートフォンの利用状況 - 1

アプリをダウンロードする際に、保護者に確認を取る青少年の割合は、学校種が上がるにつれ、下がる傾向。

ダウンロードについての保護者の確認



(注) 1「ダウンロードについての保護者の確認」は、現在使用している携帯電話がスマートフォンで、アプリケーションをダウンロードすると回答した青少年をベースに集計。

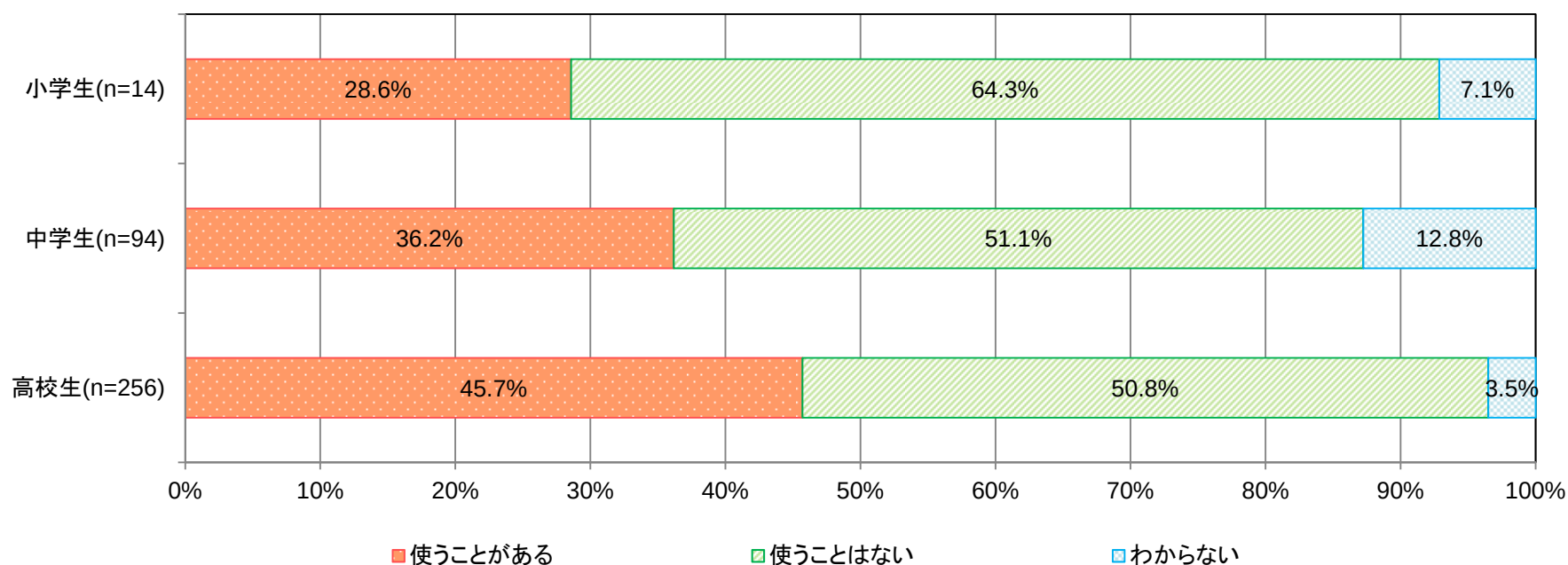
(青少年調査)

➤ 青少年が保護者に確認を取る割合は、小学生では6割弱、中学生では2割半ば、高校生では少数。

概要⑤スマートフォンの利用状況 - 2

スマートフォンの無線LAN回線の利用率は、学校種が上がるとともに高まる傾向。

スマートフォンの無線LAN回線の利用状況



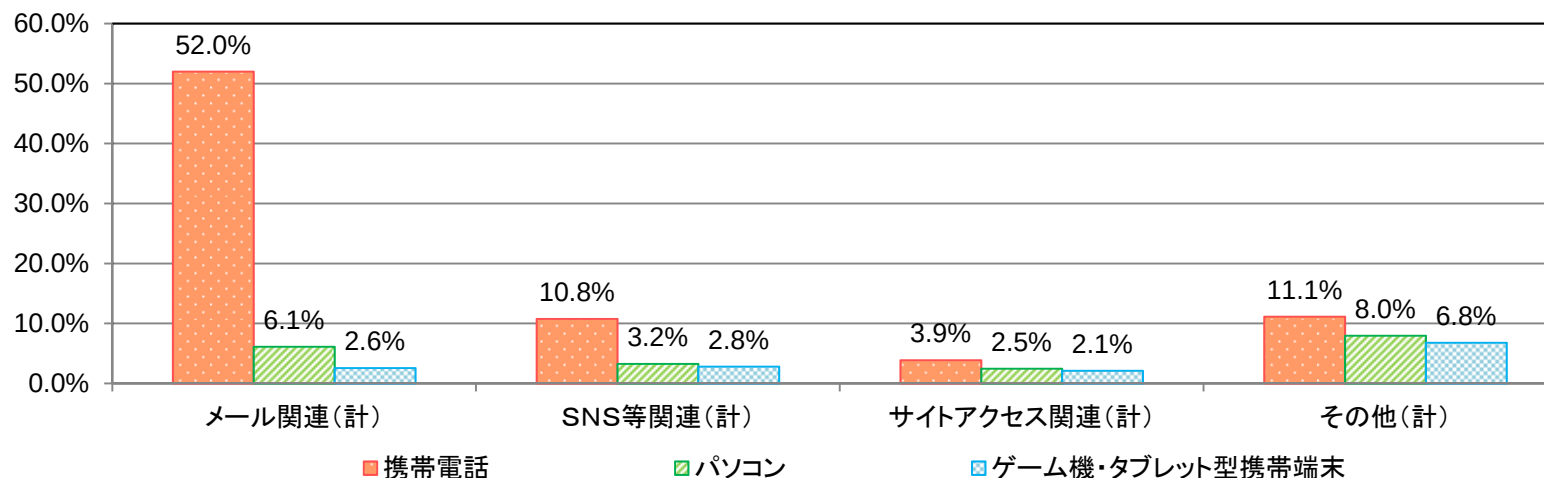
(注) 「スマートフォンの無線LAN回線の利用状況率」の数値は、携帯電話を持っていると回答した青少年のうち、スマートフォンを持っている青少年をベースに集計。

➤スマートフォンを所有する青少年のうち、無線LAN回線を利用する割合は、小学生の3割弱、中学生の3割半ば、高校生の4割半ば。

概要⑥インターネット上のトラブルなどの経験

インターネット上のトラブルや問題行動に関する行為は、携帯電話でメールやSNS等を利用した際に経験することが多い。

携帯電話、パソコン、ゲーム機・タブレット型携帯端末における
インターネット上のトラブルなどの経験



(注)1 「メール関連(計)」は、「悪口やいやがらせのメール送られた」「チェーンメール送られたことがある」「知らない人や、お店からメール来た」「悪口やいやがらせのメールを送った」「チェーンメール転送したことがある」を集計。

(注)2 「SNS等関連(計)」は、「SNS等で知り合った人とやりとり」「SNS等に自分や他人の情報を書く」「SNS等で知り合った人と会った」を集計。

(注)3 「サイトアクセス関連(計)」は、「親に話しにくいサイトを見た」「サイトにアクセスし金を請求された」「差別内容掲載サイトにアクセスする」を集計。

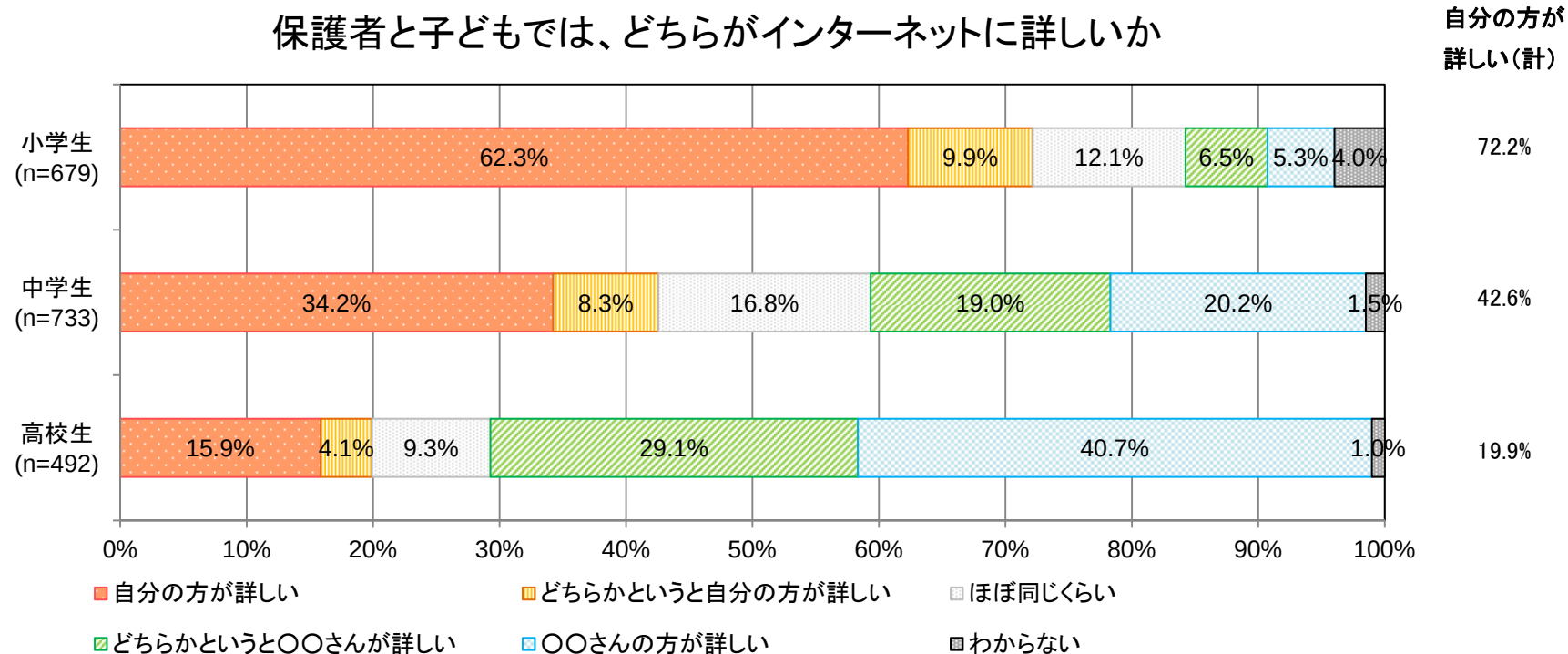
(注)4 「その他(計)」は、「ネットにのめりこんで勉強できない」「ネット上の人間関係で悩んだ」「その他」を集計。

(青少年調査)

➤携帯電話におけるインターネット上のトラブルや問題行動に関する経験は、メール関連が約5割、SNS等関連が約1割。

概要⑦青少年と保護者のインターネットに関する理解度

学校種が上がるにつれ、保護者よりも青少年の方がインターネットに詳しくなる傾向。



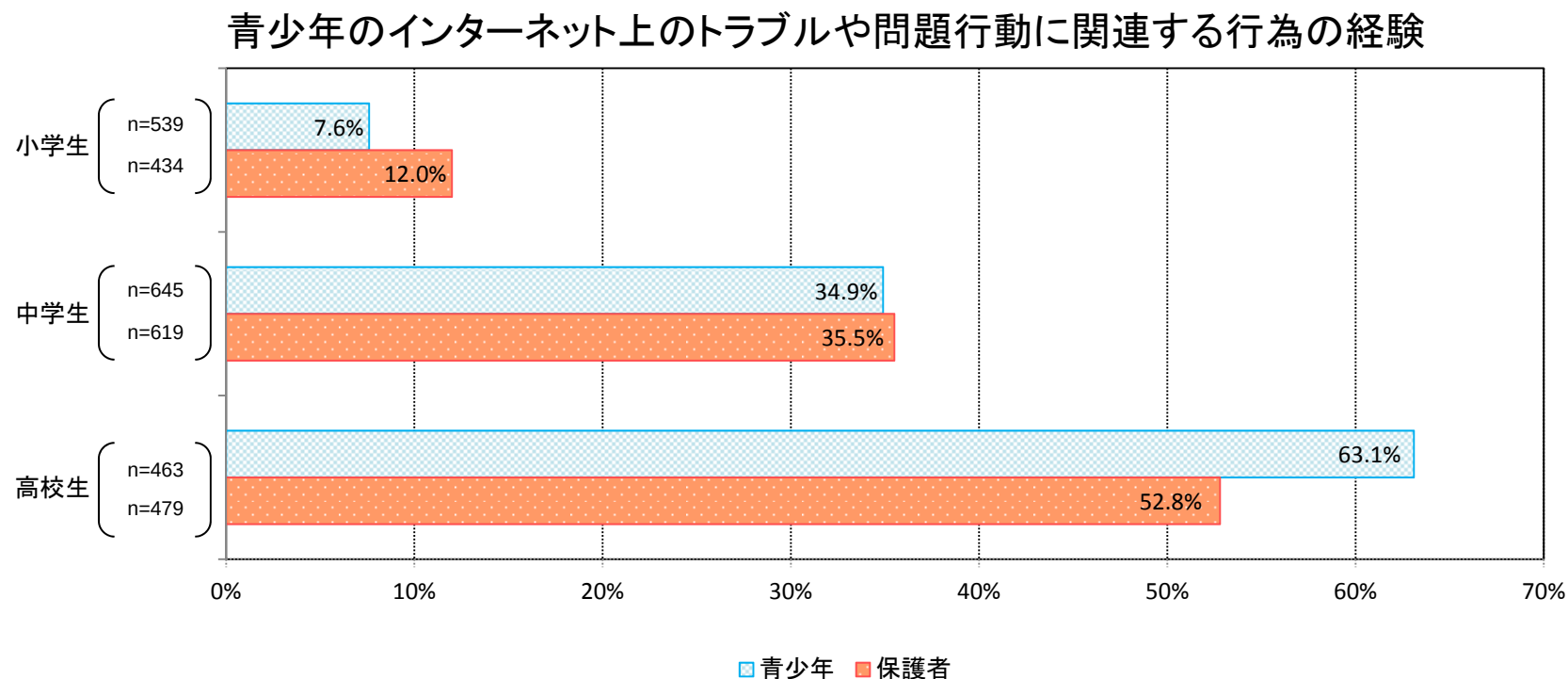
(注) 「自分の方が詳しい(計)」は、「自分の方が詳しい」と「どちらかという自分の方が詳しい」の合計

(保護者調査)

➤「自分の方が詳しい(計)」と回答した保護者は、小学生では7割強、中学生では4割強、高校生では約2割。

概要⑧青少年の実態と保護者の認識とのギャップ - 1

青少年のインターネット上のトラブルや問題行動に関連する行為の経験については、高校生において青少年の実態と保護者の認識との間にギャップが見られる。



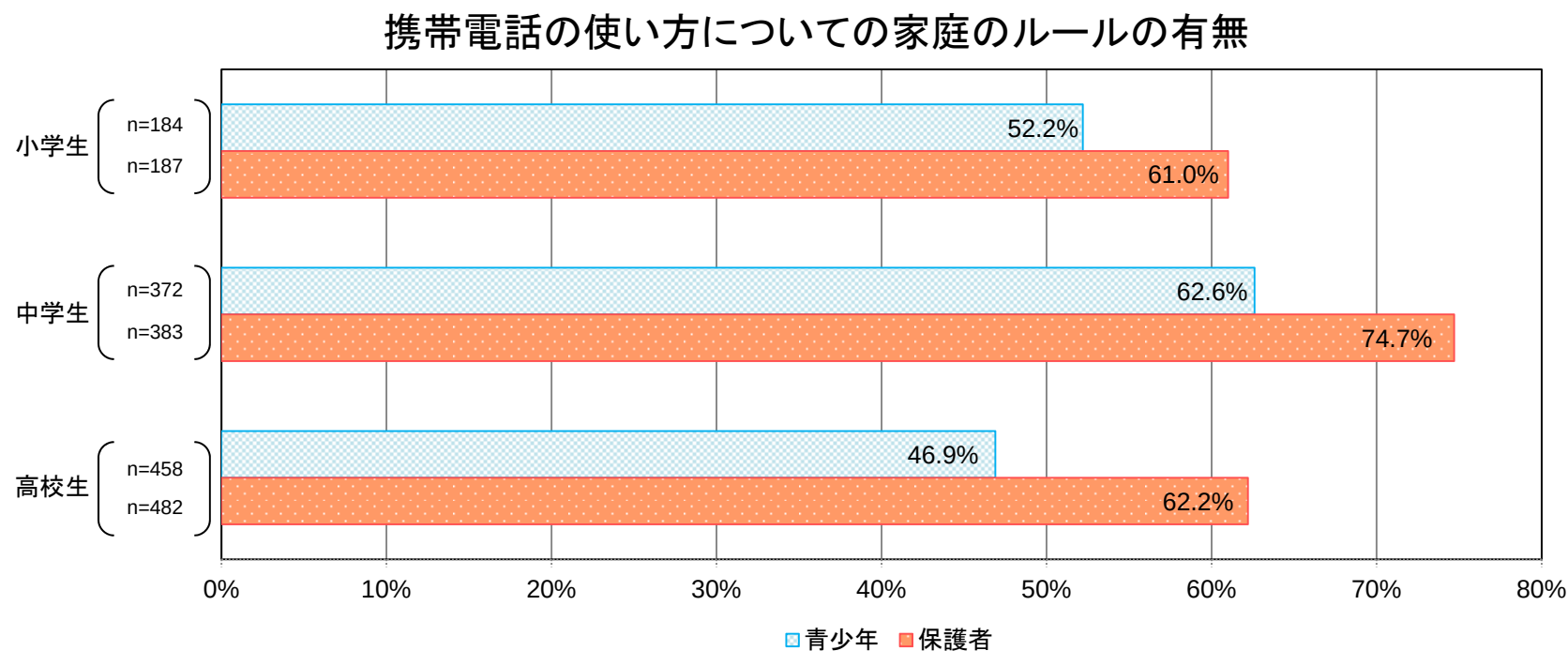
(注) 青少年が携帯電話又はパソコンでインターネットを利用していると回答した青少年及び保護者を対象。

(青少年調査)

➤ 青少年のインターネット上のトラブルや問題行動に関連する行為の経験については、高校生では、保護者の回答が青少年の回答を10.3%下回っている。

概要⑧青少年の実態と保護者の認識とのギャップ - 2

青少年の携帯電話の使い方についての家庭のルールについては、青少年の実態と保護者の認識との間にギャップが見られる。



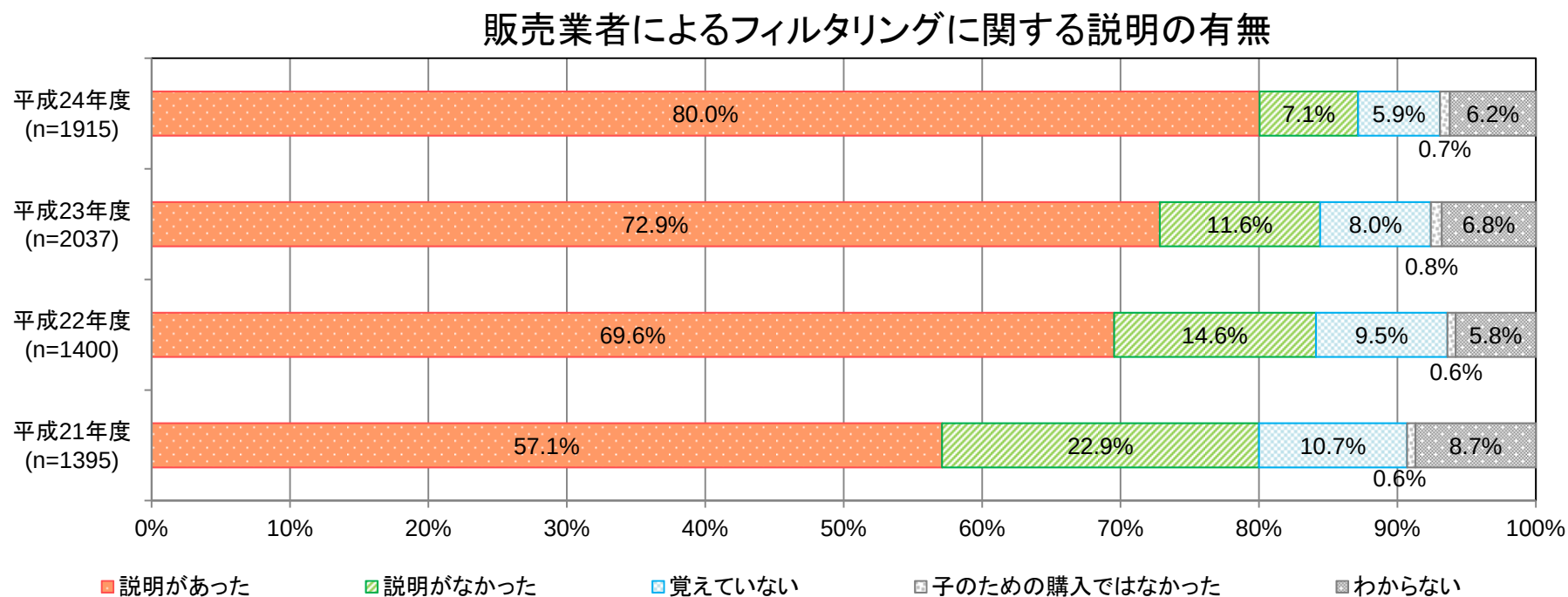
(注) 青少年が携帯電話を持っていると回答した青少年及び保護者を対象。

(青少年調査)

➤ 青少年の携帯電話の使い方についての家庭のルールについてなんらかのルールを決めているとの回答は、いずれの学校種でも保護者の回答が青少年の回答を上回っている。

概要⑨青少年インターネット環境整備法 - 1

携帯電話購入時に、販売業者からフィルタリングに関する説明を受けた割合は年々増加。



(注) 1 「販売業者によるフィルタリングに関する説明の有無」は、子どもが「自分専用の携帯電話を持っている」と回答した保護者をベースに集計。

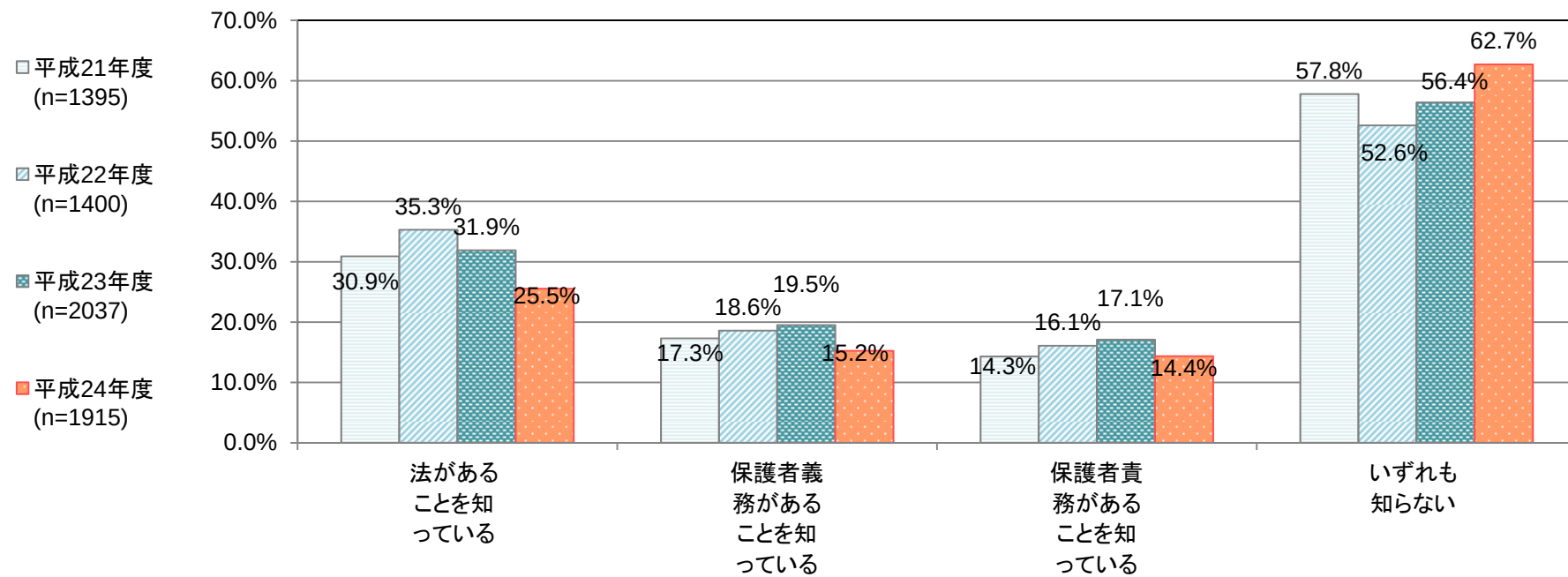
(保護者調査)

➤ 携帯電話を購入する際に、フィルタリングに関する説明を受けた割合は8割。

概要⑨青少年インターネット環境整備法 - 2

青少年インターネット環境整備法の認知は減少傾向。

青少年インターネット環境整備法の認知



(保護者調査)

➤ 青少年インターネット環境整備法及び保護者の義務や責務を知らない保護者は、6割強。